

シルバー人材センター × 市議会

今回は、働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する「シルバー人材センター」で、元気に活躍中の皆さんにお話を伺いました。



これからの社会を上手に生きていくために、
シルバーをうまく活用してほしいですね。

〈どんな仕事を担当していますか？〉

- 障子や網戸の張替えを12年やっています
- 草刈りの仕事をやって15年になります
- 刃物研ぎやNHK学園の受付、広報の配布作業をやっています
- パソコン教室で指導しています
- 会員をまとめたり、事務局や市民との調整をしたりしています

〈嬉しかったことは？〉

- 仕事の仕上がりを見て、依頼者から「プロみたい」と褒められると、やりがいにもなり、頑張らなくちゃという気持ちになりますね
- 業者がやるより安く早いとか、丁寧に一生懸命にやってくれるからいいと言われると励みになります
- 一緒に働いている仲間、お客さん、そういう人たちに喜びを感じてもらえることが、本当に嬉しいです

〈よかったことや大変だなと思うことは？〉

- パソコン教室の前に何時間も予習したり、その後のケアをしたり、大変だなと思うこともあります
- 自分のためにもなるし、いろんな人や社会に接することで若くいられるのかなと思います
- 以前はあまり歩けなかったんですが、今では1時間以上歩けるようになって、健康になったと感謝しています
- 会員がなかなか増えず、また高齢化していることが悩みです
- 季節や天候によって



仕事が左右されてしまうときは大変だなと思いますね

〈市民に伝えたいことは？〉

- シルバーはもともと全員素人です。でも誠心誠意一生懸命お客さんのために仕事をします。何か困ったことがあったら、助けてくれという感覚で相談していただければいいかなと思います
- 楽しみながら仕事をする中で、生活にメリハリがつき、気持ちも身体も健康でいられると思います。ぜひ会員になってください
- 市民の皆さんと私たち高齢者がこれからの社会を上手に生きていくために、シルバーをうまく活用してほしいですね

〈市や議会に望むことは？〉

- シルバーは、高齢化が進む中で、なくてはならない非常に重要な組織だと思います。今後どうやって存続させていくのか、将来展望をしっかりと考えていただきたいです
- 高齢者が集って、話をしながら小物作りをしたりできる、サロンやカフェみたいなものを作ってみたいので、市に協力してもらえたらなと思います
- シルバーには優秀な人材もたくさんいるので、市や議会の業務でぜひもっと利用してください

9月定例会議 第1回臨時会議

議案審議

あきる野市の

こんなことが決まりました。

9月定例会議 会議期間23日間 9月4日～9月26日
第1回臨時会議 9月29日

9月定例会議の議案は

諮問……………1件

市長提出議案…21件

陳情……………3件

第1回臨時会議の議案は

市長提出議案…1件

計26件

今号では
この中から
7つを
Pick up

全ての議案名と結果は、あきる野市ホームページを
ご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

〈諮問第1号〉 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
〈議案第52号〉 あきる野市固定資産評価審査委員会委員の選任について
〈議案第53号〉 あきる野市教育委員会委員の任命について

Pick up 1

人権擁護委員等が決まりました。

人権擁護委員、あきる野市固定資産評価審査委員会委員及びあきる野市教育委員会委員の任期満了により、後任者として次の各委員を適任と認め、また同意しました。

委員が決まりました。

- 人権擁護委員

森田 康大氏

任期3年（法務大臣の委嘱の日から）

- あきる野市固定資産評価審査委員

会委員

法理 規夫氏

任期3年（平成29年11月10日から

32年11月9日まで）

- あきる野市教育委員会委員

坂谷 充孝氏

任期4年（平成29年10月28日から

33年10月27日まで）



〈議案第54号〉 あきる野市生物多様性保全条例

Pick up 2

生物多様性の保全を図るため、 必要な事項を定めました。

市内に生息する希少野生動物植物を保護し、将来の世代に継承していくために、あきる野市生物多様性保全条例を制定します。なお、環境建設委員会に、委員から原案に対する修正案が提出されました。審査の結果、修正案は賛成少数により否決され、原案は全員賛成により可決しました。

こんな意見が出ました。

- この条例は、希少種の保護が中心になっっているが、市が目指している生物多様性の保全を目的に修正すべきだと思う。

- 修正案よりは、生きものの会議の方々、専門家の方々に協議いただいたことに、敬意を表すとともに尊重していきたいと思うので、原案に賛成する。



カヤネズミ（東京都絶滅危惧Ⅱ類・市内で撮影）

〈議案第56号〉 あきる野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

Pick up 3

牛沼初雁地区内の建築制限などを 改めます。

初雁地区の沿道地区及び産業地区について、土地利用の見通しと併せて適切な土地利用を図るため、敷地面積の最低限度及び建築物の高さの最高限度に新たに制限を追加します。

こんな質問が出ました。

Q 25mの高さが産業地区の方にも広がるということですが、東側の畑が日陰にならないかなど、地域の方から不安の声は出ていますか。

A 住民説明会を実施した中で、特に

意見はありませんでした。25mについては、市側からの提案ではなく、地元の皆さんと検証した結果、流通・業務地区を先行的に定めています。それを踏まえて、今回の改正も説明会で理解いただいています。



Pick up 4

マイナンバーカード等に、旧姓が併記できるようになります。

住民票やマイナンバーカードに、本人の申し出により、戸籍上の名前とともに、旧姓が併記できるようになります。

こんな質問が出ました。

Q 国民健康保険証などにも旧姓が併記されますか。

A 今回は、住民票とマイナンバーカードのみです。今後、女性の活躍という視点からも、旧姓の併記というのがだんだんと波及していくのではないかと感じています。

AQ 旧姓の併記はいつ頃実現しますか。国の政省令がいつ改正になるかが、現段階ではまだ不明です。実施時期についても不明です。



Pick up 5

ドナー支援制度策定に向け、検討していきます。

東京都は、平成27年度から骨髄移植ドナーに対する休業補償等を制度化した自治体に対して、かかる費用の半額を助成しています。この補助事業の適用を受けるため、ドナーへの支援制度の策定をしてほしいという陳情です。議員全員の賛成で採択されました。

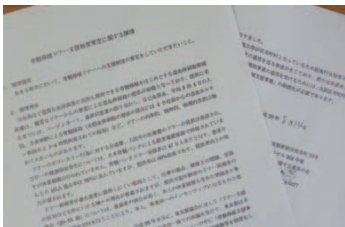
こんな質問が出ました。

Q 市内のドナー登録数は。また、これまで何人ぐらい提供者がいましたか。

A 登録者数は、平成29年7月末で、180人の登録となっております。平成4年にドナー登録が始まり、平成28年までの間の提供者は8人です。

AQ ドナーにはどのくらいの金額を保障する試算ですか。

ドナーに関しては、1日2万円の7日間で14万円、事業所においては、1日1万円の7日間で7万円、合計21万円を予定しています。



Pick up 6

公園兼災害時の避難所に関する陳情は不採択になりました。

瀬戸岡の市営住宅跡地を、子どもたちが安全に遊べる公園兼緊急時避難所として活用してほしいという陳情です。賛成議員が少なかったため、不採択になりました。

こんな意見が出ました。

● 売却の計画はそのまま進め、今、新しくできている市営住宅の起債の償還に充てていくべきと考えるので、反対する。

● 市営住宅跡地は街区公園の設置基準に合っており、一時避難所として活用してほしいという要望にも応えることができませんので、賛成する。

● 残念ながらこの段階に至っては反対せざるを得ないが、こうした地域住民の思いが反映されるまちづくりが進むよう、議会としても努めていきたい。



陳情者からの意見陳述(総務委員会)

Pick up 7

区画整理事業の見直しを求める陳情は不採択になりました。

武蔵引田駅北口土地区画整理事業を見直し、下水道の敷設や駅前広場の整備など住民の生活環境を整えるためのまちづくりをしてほしいという陳情です。賛成議員が少なかったため、不採択になりました。

こんな意見が出ました。

● 再意向調査の状況や病気などで心配な方への市の対応、財産指標、将来のことを考えると、この事業は、進めたほうがいいと思っ

● 区画整理事業は、地権者の生活や財産に直接かわること。最初から事業ありきで進められており、多数の方が事業の推進を望んでいるとしても、反対する少数の意見を置き去りにして進めていいのか。



陳情者からの意見陳述(環境建設委員会)

*千円以下切り捨て

総務費
30億284万円

循環バス関係経費 1355万円
コミュニティ事業交付金 290万円



民生費
128億7713万円

子育て支援拠点整備事業 6194万円
保育士等キャリアアップ補助金 (認証保育・小規模保育) 669万円




衛生費
30億5434万円

市民の健康づくり事業 4055万円
予防接種モバイルシステム 開発委託料・ライセンス使用料 132万円



農林水産費
3億3775万円

獣害防止対策に要する経費 821万円
雨間東郷前地区農地防災事業 400万円



商工費
3億4400万円

秋川渓谷戸倉体験研修センター 運営管理経費 2425万円
ふるさと工房運営事業 1238万円



土木費
26億7464万円

秋川駅自由通路エレベーター 概略設計業務委託料 486万円
LED街路灯借上料 3399万円




消防費
11億9443万円

地震・台風等災害対策経費 1436万円
防災行政無線維持管理経費 1455万円



教育費
29億5991万円

小・中学校非構造部材 耐震化工事 3082万円
放課後子ども教室推進事業 583万円



教育費

キララホール照明設備改修工事 3099万円
学校給食事業 (秋川、五日市) 4億948万円

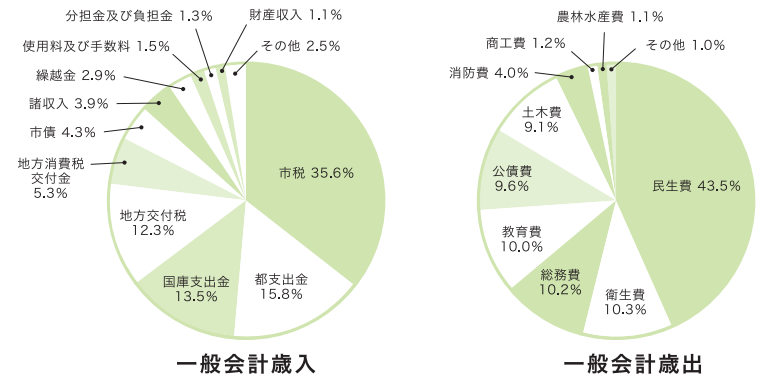


平成28年度決算をチェック 

税金の使い方を確認しました。

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会議までに、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査・確認を受けなければなりません。そのため、9月20日・21日の2日間、決算特別委員会を開催、確認し、全ての決算が認定されました。使い道について一部を左ページで紹介します。

一般会計歳出額 (使ったお金) 295億7778万8418円



総歳出額 (使ったお金) 511億2317万2987円

平成28年度一般会計・特別会計決算状況

	歳入 (収入)	歳出 (支出)
一般会計	299億8191万3910円	295億7778万8418円
特別会計		
国民健康保険	108億5811万5728円	104億6694万2299円
後期高齢者医療	18億5810万2951円	18億3797万8598円
介護保険	58億5602万9197円	56億1792万9342円
戸倉財産区	1531万9554円	773万2807円
下水道事業	34億7669万5812円	34億4031万4752円
テレビ共同受信事業	3023万146円	3006万4953円
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業	1億4568万5035円	1億4442万1818円
合計	222億4017万8423円	215億4538万4569円
総合計	522億2209万2333円	511億2317万2987円

共産党

反対

個人市民税の内訳は、所得300万円以下の人が81.65%と、所得の少ない層が圧倒的多数。多くの市民の暮らしはよくなっていない。秋川駅自由通路エレベーター設計、病児保育施設の設計などは評価する。認可保育園を新設し保育園待機児解消を。義務教育保護者負担の軽減を。市民とともによりよい公共交通をつくるため、積極的な情報提供を。高齢者緊急通報システムの要件緩和申し入れすらしない市の姿勢は疑問。マイナンバーカードの普及に努めるより「個人番号の記入は任意」の徹底を。武蔵引田駅土地区画整理事業は足を止め、地権者・住民と対等な話し合いをすべき。開発優先市政による失敗を反省し、市民の暮らしを支えることを最優先に税金を使うべきだった。



たばた議員

公明党

賛成

平成28年度一般会計の決算の状況は、将来負担率が53.7%と前年度比で8.1ポイント改善し、市債の償還などが順調と認められる一方、経常収支比率は98.8%と前年度比5.1ポイントの増で財政の硬直化がみられる。今後も、少子高齢化、社会保障関連経費の増加が見込まれ、自主財源の確保や行政改革の一層の推進を望む。歳入では、主に新築家屋等の固定資産税の増、市有地売却い処分による約2億円の増。歳出では、主にあきる野ルビア2階の子育て支援拠点の開設、学校体育館等の非構造部材耐震工事の完了、特別支援教室の開設、病児・病後児保育室の整備等高く評価する。今後も、市民生活向上への積極的な取り組みを要望し、賛成討論とする。



田中議員

くさしぎ

反対

平成28年度は、大規模な工事や土地購入があった平成10年代後半以来、8年振りに実質単年度収支がマイナスになった。国からの交付金が減少する中、前年度の繰越金を使って財政運営せざるを得なかった結果とも言える。右肩上がりの経済成長の時代はとうに終わり、これからは少子高齢化社会の進展に向け、いかに合理的に公共サービスの縮減を図っていくかが課題である。こうした時代において未だに駅前開発を是として疑わず、住民自治に反する手法で進む引田駅の区画整理事業に約1億1000万円の財源を繰り出し、また、公営企業として利用率回収率が極端に低い下水道事業について見直しが進まないまま13億円を越す財源を繰り出したことは問題である。



辻議員



決算特別委員会

平成28年度決算をチェック



このような理由で一般会計決算の認定に賛成・反対しました。



増崎委員長

定例会議最終日に、決算特別委員会で審査した結果を増崎委員長が報告し、全会派が平成28年度一般会計決算の内容について賛成・反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。

明るい未来を創る会

反対

平成28年度末で、一般会計、下水道事業特別会計、一部事務組合を含めた市債残高は元金で合計554億6048万5000円。これに見込み利息49億5001万1000円を加えると604億1049万6000円、平成29年4月1日の人口8万1315人でわると市民1人当たりの借金は約74万3000円。今後ますます、公共インフラ・公共施設の統廃合や再配備、社会保障関連経費等の需要が増大する中では、武蔵引田駅北口土地区画整理事業は、見直すべき。職員の日々の努力に最大限の敬意を表すが、市長が武蔵引田駅北口土地区画整理事業を再考しない限りは決算の認定に反対する。



中村のりひと議員

自由民主党志清会

賛成

平成28年度一般会計の決算規模は、歳入歳出ともに前年度より主に土地開発公社清算事業や、学校給食センター用地の取得が完了し大幅に減額と理解。将来負担率は8.1ポイントの大幅な改善で、繰上償還実施など債務の縮減が図られた。歳入の市税は前年度比0.7%、約7900万円の増収で、新增築家屋による固定資産税や都市計画税の増収が主な要因と理解。歳出は子育て支援の充実や女性の活躍推進、公共施設における授乳室設置促進、観光まちづくりの推進、戸倉しろやまテラスの滞在型の観光拠点整備、教育では学力推進モデル校事業の充実を図っている。今後も財政運営を行っていくに当たり、持続可能で効率的な財政運営を期待。



村野議員